

2023年度「いさはや九電みらいの森」での
環境教育

◆ 募 集 要 領 ◆

2023年1月

公益財団法人九電みらい財団

1 参加対象

- 小学生（小学4年生以上推奨）
※ 学校単位でお申込ください。

2 参加可能人数

- 最大60名/回（引率者含む）
※ 新型コロナウイルス対策として、定員を60名/回にしております。
※ お申込み単位が60名を超える場合は、原則日程を分けて実施します。

3 実施時期及び回数

- 2023年5月、6月及び11月の当財団が定める日程内のご希望の日
※ 実施時期によってプログラム内容が異なります。（後述）
※ 当財団が定める日程は、下表のとおりです。（参加申込書にも記載しています。）
※ 他校との日程重複等により、ご希望に添えない場合がありますので、予めご了承ください。
- 8回/年（プログラム①、②含む）
※ご希望いただいた日程の中から、抽選で各校1回（学年の人数によっては2回）体験いただきます

〈当財団が定める日程〉

プログラム①

日 程		
5月22日（月）	5月29日（月）	6月5日（月）
5月23日（火）	5月30日（火）	6月6日（火）
5月24日（水）	5月31日（水）	6月7日（水）
5月25日（木）	6月1日（木）	6月8日（木）
5月26日（金）	6月2日（金）	6月9日（金）

※上記の内6回程度

プログラム②

日 程	
11月20日（月）	11月27日（月）
11月21日（火）	11月28日（火）
11月22日（水）	11月29日（水）
11月23日（木） 勤労感謝の日	11月30日（木）
11月24日（金）	12月1日（金）

※上記の内2回程度

4 実施内容

- 長崎県、諫早市と協定締結した「いさはや九電みらいの森」（長崎県諫早市大場町片木地区）において、講話にて、地球温暖化の現状や森の役割等について学び、植林や育林等の体験を通して、講話で学んだことを実感し理解を深めてもらうことを目指した体験型の環境教育です。
- 実施時期によって2つのプログラムを検討しています。
- プラグラム内容が変更となる場合もあります。

《プログラム①》

5月、6月に実施するプログラムです。

〔講 話〕

- ・ 地球温暖化の現状、森の役割（CO₂吸収、水をたくわえる、土砂災害を防ぐ、生物多様性の保全等）、省エネ、カーボンニュートラルの考え方について学ぶ。

〔体 験〕

- ・ 広葉樹の苗木（高さ60センチ程度）を植える（3本程度）体験を通じて、講話で学んだ森の役割を体感する。

〈基本スケジュール:約4時間+バス移動時間、集合場所:国立諫早青少年自然の家〉

時間（目安）	内 容
10:00～10:10 〔10分〕	オリエンテーション（国立諫早青少年自然の家敷地内の散策道） （挨拶、講師紹介、注意喚起）
10:10～10:30 〔20分〕	森の講話
10:30～11:30 〔60分〕	青少年自然の家～いさはや九電みらいの森 （森林観察しながら徒歩にて移動します）
11:30～12:10 〔40分〕	昼食 いさはや九電みらいの森にて昼食（お弁当は各自ご準備ください）
12:10～13:20 〔70分〕	植林体験、森の実験など ※植え方の説明、苗木の植付け
13:20～13:30 〔10分〕	まとめ （振り返り、挨拶、記念撮影）
13:30～13:50 〔20分〕	いさはや九電みらいの森～道路沿い駐車場（移動）

※ 学校都合等に合わせ柔軟に変更できます。

※ 講話及び体験の実施場所は別紙1のとおり。

《プログラム②》

11月に実施するプログラムです。

〔講 話〕

- 地球温暖化の現状、森の役割（CO₂吸収、水をたくわえる、土砂災害を防ぐ、生物多様性の保全等）、省エネ、カーボンニュートラルの考え方について学ぶ。

〔体 験〕

- 森のお世話（育林）に繋がる体験（下草刈りや追肥など）や、木工体験を通じて、講話で学んだ森の役割を体験する（検討中）

〈基本スケジュール:約4時間+バス移動時間、集合場所:国立諫早青少年自然の家〉

時間（目安）	内 容
10:00～10:10 〔10分〕	オリエンテーション（国立諫早青少年自然の家敷地内の散策道） （挨拶、講師紹介、注意喚起）
10:10～10:30 〔20分〕	森の講話
10:30～11:30 〔60分〕	青少年自然の家～いさはや九電みらいの森 （森林観察しながら徒歩にて移動します）
11:30～12:10 〔40分〕	昼食 いさはや九電みらいの森にて昼食（お弁当は各自ご準備ください）
12:10～13:20 〔70分〕	育林あるいは木工体験等・森の実験
13:20～13:30 〔10分〕	まとめ （振り返り、挨拶、記念撮影）
13:30～13:50 〔20分〕	いさはや九電みらいの森～道路沿い駐車場（移動）

※ 学校都合等に合わせ柔軟に変更できます。

※ 講話及び体験の実施場所は別紙1のとおり。

《備考》

昼食を除き、散策や植林（あるいは育林/木工）の時間も短縮し、約3時間程度のプログラムも調整可能ですので、ご希望の場合は、申込書にその旨ご記載ください（例：オリエンテーション10分、講話20分、散策60分、体験60分、まとめ10分、解散20分 など）

5 費 用

○ 無料

※ 現地までの貸切バス費用、傷害保険加入費用、講師代、テキスト代、資機材等の費用は、当財団で負担いたします。

学校の課外授業等に利用できる自治体の「公用バス」等があれば積極的に利用させていただきたいと考えておりますので、情報ありましたら教えていただけますと幸いです。

※小学校さまからの申請で通常スクールバスとして利用されている公用バスを空き時間で課外授業の送迎として利用した例あり

6 募集締切

- 2023年2月27日（月）15時必着

7 決定通知日程

- 2023年3月13日（月）までに電話にて連絡

8 申込方法

- 「2023年度 参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、メールまたはFAXにてご提出ください。（メールやFAXの不着がないよう、提出後電話にてご連絡ください）
- ご希望の日程に第1希望から優先順位をつけて、できるだけ多くの希望日をご記入ください。
- お申込み単位が60名を超える場合は、原則日程を分けて実施しますので、以下の例を参考にそれぞれ優先順位をつけてください。

【例：30名の4クラス、計120名でのお申し込みのケース】

- ・2クラスずつ2回に分けて（Aグループ、Bグループ）の実施となります。
- ・仮に、『5/23(火)、5/24(水)』を第1希望
『6/8(木)、6/9(金)』を第2希望 とする場合、
- ・参加申込書には、5/23(火)の欄に『①A』、5/24(水)の欄に『①B』
6/8(木)の欄に『②A』、6/9(金)の欄に『②B』 と記載

- プログラム①とプログラム②の両方に申し込むことは可能です。

9 選考方法

- ご希望日程を基に、ご希望の優先順位が高い順に決定させていただきます。
- ご希望の日程が他校・他団体と重複した場合は、抽選させていただきます。
- なお、“2校合同での実施”とする場合があります。

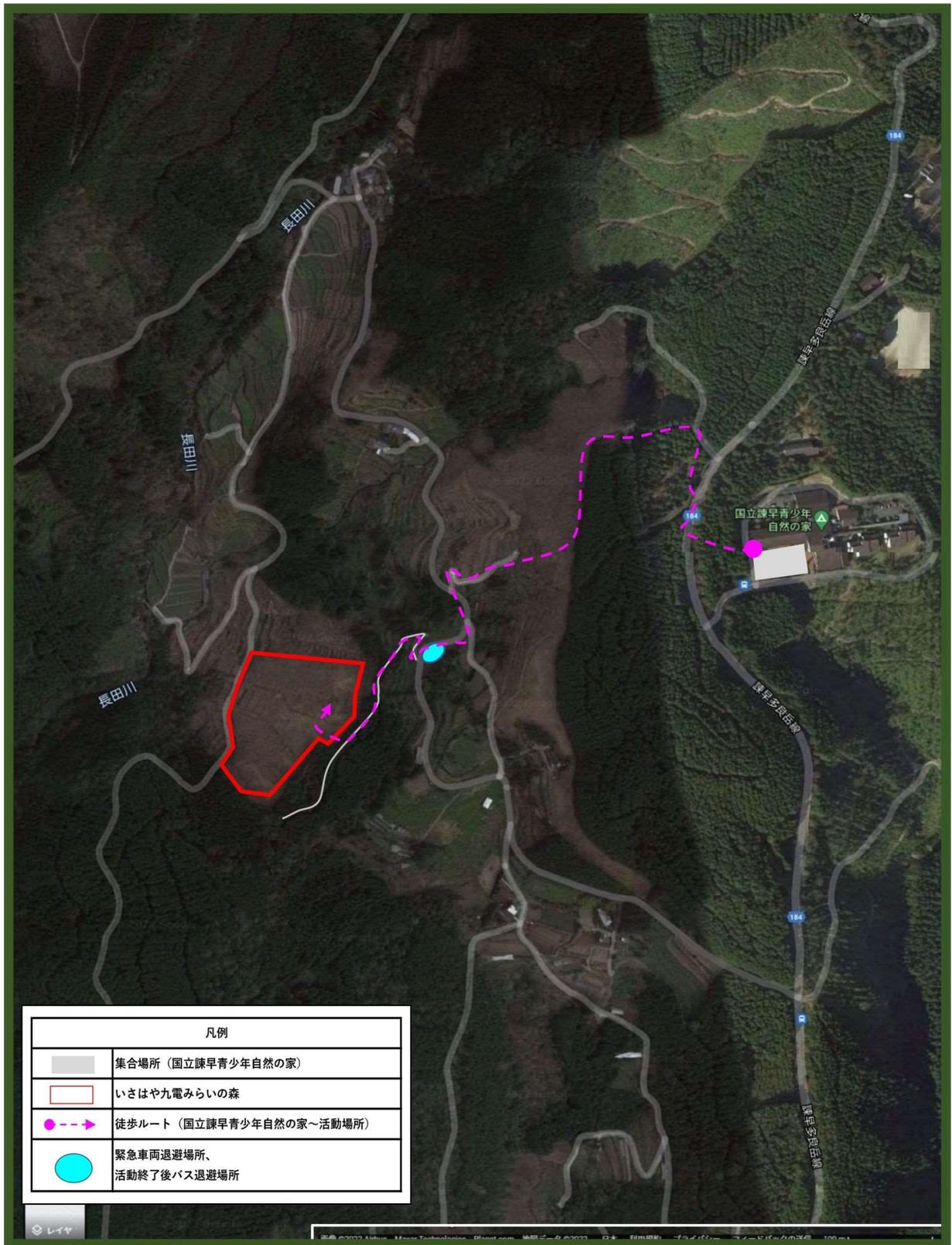
10 その他

- 活動の実施にあたっては、可能な限りの新型コロナウイルス感染防止対策を講じて実施するため、参加者の皆さまにもご協力をお願いします。（詳細は別紙2参照）
- 現地までの往復移動に使用する貸切バスは、当財団で手配し、活動当日の集合時間までに、ご希望の場所へ配車いたします。（大型バス1台に原則30名で乗車予定）
- 現地までの往復移動時における引率は各学校・各団体様にて実施してください。（当日は、現地でお待ちしております。）
- 活動当日の様子は、広報を目的として、写真等を撮影し、ホームページ等で利用させていただきますので、予めご了承ください。
- 引率者の方にも、現地での誘導や安全管理等の補助をお願いする場合があります。
- 当日の服装や持参物については、活動実施に向けた調整の中でお知らせします。
- 雨天時は、体験場所の足元が滑りやすく安全に体験が出来ないことから、原則少雨

- でも中止とします。（中止の判断は、活動前日の午前中までに実施）
- 学校のご都合でキャンセルされる場合は、活動の準備に要した実費をご負担いただきます。

以 上

「いさはや九電みらいの森」と「国立諫早青少年自然の家」の位置関係図



「いさはや九電みらいの森」環境教育に係る新型コロナウイルス感染防止等の対策

		対策内容
での対策	学校や家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参加される方は、活動日の1週間程前から体調管理を徹底 ○ 当日の朝、参加者全員検温を実施（ご家庭単位でも可） ⇒37.5℃以上の発熱のある方や体調不良の方は参加不可 ○ その他、各学校で取り組まれている対策の実施
による対策	バス会社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 貸切バス旅行連絡会発行の「貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン（令和4年11月30日改訂）」に則り、各バス会社で対策を実施
現地での対策	主催者	<p>[新型コロナ対策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動の1週間前までに体調不良や発熱のあった者の対応禁止 ○ 当日対応者の検温を実施（37.5℃以上の発熱のある者は対応禁止） ○ 原則マスク着用とする（適宜外し熱中症予防に努める） ○ アルコール消毒液や仮設トイレ手洗い場への石鹸の設置 ○ 活動で使用する道具類の使用前後の消毒 ○ 活動中に密集状態が発生しないよう机、イス、資機材等の適正数量を準備 ○ 人との距離が遠く声が聞こえにくい場合は、マイク等を使用し説明・連絡を実施 ○ 活動中に参加者の看護が必要な場合は、手指の消毒に加え、マスクを着用して対応 <p>[熱中症対策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 参加者への水分補給のこまめな呼びかけ ○ 参加者の体調確認を適宜実施 ○ 暑い時期は、熱中症発症に備え、冷却剤、経口補水液、タオル等を準備
	参加者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人との距離（2m以上目安）が確保できる場合はマスクを外すことを推奨。ただし、会話をする場合や密が回避できない場合はマスク着用 ○ 可能な限り、人との会話を控える ○ 人との距離を可能な限り確保（2m以上、最低1m以上）
その他		<ul style="list-style-type: none"> ○ 1回あたりの受入人数は原則最大60名 ○ 貸切バスへの乗車人数は、大型バス1台に約30名で乗車 ○ 活動前日の天気予報により、当日の天候が雨（少雨含む）の可能性が高い場合、密集を回避して活動ができないため事前に活動の中止を判断（活動中の急な雨は、状況に応じて一時活動を中断）